



読者のホーム・ページ (70) よっぱライフプランナー



本日5月25日、秩父宮ラグビー場において、ラグビーの日本代表チームがロシア代表チームとテストマッチ(国代表同士の認定試合)を行った。結果は、34-43で日本が負けた。昨年は大勝している相手にだ。こここのところ日本代表(ジャパン)は国際試合で5連敗。徐々に強くなっている様だが、なかなか結果が出ず、私も含めてラグビーファンはヤキモキしているのである。ジャパンは、今年74年ぶりにジャージ(ユニフォーム)のデザインを一新した。今までの慣れ親しんだ紅白の段柄ジャージ、胸には日本代表であることを証明するサクラのマーク、これを一新する迄には、かなりの議論が重ねられた様である。ある日本代表OBは、「ジャージを変えるなら、日本代表OBを辞める」とまで言ったとの事である。それほどラグーマンにとって、究極の目標・憧れであるサクラのジャージ、これを身につけて戦うジャパンには国を代表しているという使命感をもって試合に臨んでほしいものである。

同日同時刻、千葉県柏市の日立柏総合グラウンド(柏レイソルの本拠地に隣接したグラウンド)では、日立本社ラグビー部OBチームと熊谷不惑倶楽部との試合が行われた。日立本社ラグビー部は、私が以前在籍していたチームである。年に数回、日頃運動不足の元ラグーマンが集まり、昔の感覚を思い出しながら、芝生の上をこの時ばかりはゴルフボールでなく、ラグビーボールを一心に追いかけるのである。相手の不惑倶楽部は、その名のとおりに、40歳以上のメンバーで構成される全国にある不惑倶楽部の熊谷市のチームである。40歳台は白パンツ、50歳台は紺パンツ、60歳台は赤パンツと分けられて、週末は毎週のように練習をしている様である。試合の方は、若さに物を言わせて、我々の勝利で終わったが、60歳台の赤パンツの元気な事！流石にスピードは無いが、試合をこなすスタミナと昔取った何とやらで老練なプレーを見せていた。私が60歳台になったとき、赤パンツをはいて同じように走り回れるかということ、ちょっと自信がない。日本のラグビー界は、こういう人達によって支えられているのである。小中学生のラグビースクールから中高年の不惑倶楽部までラグビーを愛する人がいる限り、ジャパンはラグーマンの憧れであり、模範となってほしいものである。今年10月10日からオーストラリアにおいて、ラグビーのワールドカップが開催される。ジャパンと同じブロックには、フランス、スコットランド、アメリカ、フィジーが入っているが、過去ワールドカップで1勝しかしていないジャパンが、何勝できるかが注目されている。今の仮だと全敗で終わってしまいかねない。ジャパンの奮起を期待したい物である。

今日の試合中ちょっと負傷した足が痛むが、明日の仕事を休む訳にはいかない。こんな時は、リラックスできる音楽と痛みを麻痺させる？バーボンが明日への糧になる。ジャパンのワールドカップ勝利を祈念して乾杯！明日の朝、ベッドから起きあがれるかなあ～？朝日のようにさわやかに起きられることを祈願して、2枚セットし

ておくか…ケリーで目覚めて、マッコイで身支度・・・と！

